



令和7年9月19日（金）発行

第17号

文責：校長 横澤 聡一

多くのことを学んだ学校行事！！ 成長を今後の生活に活かす！！

9月10日～12日の3日間、各学年で学年行事を行いました。普段の授業では学ぶことができない体験等を通して、多くのことを学ぶことができたようです。16日の全校朝会では各学年の代表からどんな体験をして、どんなことを学んだかの総括がありました。活動の様子と合わせて紹介します。

【3年生⇒⇒⇒CSW（職場体験）】

私たち3学年は、各事業所で3日間の職場体験に行ってきました。最初のうちは難しい仕事もたくさんありましたが、職場の方々が丁寧に教えてくださったおかげでスムーズに仕事を進めることができました。また、昼食時や空いている時間を利用して、職場の方々に質問するなど、積極的にコミュニケーションを取ることができました。今回の職場体験を通して、将来の進路を考えるきっかけになりました。【伊藤大翔さん】
また、元気よく挨拶できているという声もあれば、積極的に行動できていないというお声もいただき、自分達の強みや課題をはっきり認識することができました。今後は、この経験を糧に、学校生活に活かせるように努力していきたいと思います。



【2年生⇒⇒⇒修学旅行】

私たち、2学年は2泊3日の修学旅行を終えました。1日目での実行委員、班長合同会での話し合いでは、改善点が多く挙げられ、先生に言われてからではないと行動できないところ、リーダー達の呼び掛けがないなど、1日目の「国会議員に認められる」という目標があまり達成できなかったです。ですが、実行委員などで1日を振り返り、どうしたら良かったのか、なぜ達成できなかったのか、お互いに意見を出し合い、今までにない程の真剣な話し合いをしました。そうすることで、リーダーとしての責任感の大切さを改めて実感することができました。

そして2日目。話し合った事をしっかり班員に伝え、班別自主研修やディズニーランドでの班別行動



【高井莉衣咲さん】

では、1日目の反省を活かして、行動に移すことができました。そこで周りにしっかり意見を伝えることの大切さ、すぐに人に聞くのではなく、自分で考え、行動することが集団行動では大切だと分かりました。この3日間で、国会議事堂で政治の仕組みを知り、電車に乗ったり、班別自主研修をしたりすることで、東京の文化、街並み、歴史についても学ぶことができ、良い刺激になり、しっかりと参勤交代を終えることができました。

私は、ここからが本当の勝負だと思っています。学んだこと・身につけたことを小国にしっかり持ち帰り、東京と小国を比べ、小国の良さをさらに見つけて、小国町の発展に繋げることで、そして、学校生活では、これから新人戦・生徒会選挙など、この3日間でつけた力を発揮する場面が、私たちには沢山あります。

そこで、2学年の皆さん、これから成功させることができるのかは自分次第です。2学年の課題である継続力、その時だけ頑張って、あとは続かない、そんな私達とは、おさらばです。ここからは学んだことを、本当の自分の力、強みにし、自分自身を自分でレベルアップしていくことが大切だと思います。2学年の1つの殻を破るチャンスに繋がると私は思います。この修学旅行で時間を守ったり、自分たちで計画通りに行動したりしたことで、いつもの学校生活とは違う緊張感がありました。その中で、自分で考えて動く力が特に身についたように思います。これからも、自分のことは自分で責任を持って取り組み、成長していけるように努力していきたいです。



【1年生⇒⇒⇒小国魅力発見】

私たち1年生は、1日目、温身平森林セラピーの体験をしました。この体験を通して、小国町の森林・植物の魅力をあらためて体感できたと思います。私は、あまり発見できない「ギンリョウソウ」を見れたことがうれしかったです。他にも、アテンダントの方や先生方の話をよく聞いて行動したりすることができました。天気にも恵まれ、とても充実した1日になりました。

2・3日目は、日本重化学工業の山形事業所の見学に行ってきました。様々な人が、たくさんの作業を行っていることに驚きました。機械だけでなく手作業でしているものもあり、とてもすごいと思いました。そこでつくられているものが、車などに使われ、私達の生活につながっていることを知りました。この3日間の体験を通して、全体の絆や団結力が深まりました。



【木村 彩音さん】

【今盛 美怜さん】

